

分野	特別支援教育 知的障害教育
研究テーマ	特別支援教育 知的障害教育における教育課程 知的障害教育の指導法・授業づくり
キーワード	知的障害、教育課程、各教科等を合わせた指導
所属学会等	日本特殊教育学会 日本発達障害学会 日本リハビリテーション心理学会 日本リハビリテーション心理学会認定 心理リハビリテーションスーパーバイザー
特記事項	



URL : <http://er.nisikyu-u.ac.jp/DYU0160?ri=162#vi-block-003>

## 【 特別支援学級の担当教員に求められる資質・能力

### －佐賀県内の小中学校におけるアンケート調査から－】

小・中学校の特別支援学級の数は、この10年間で約2倍に増えています。つまり、特別支援学級を担任できる先生がそれだけたくさん必要になっている、ということです。

この研究では、そのような特別支援学級における教育の課題をより一層明確にするため、佐賀県内の全ての小・中学校の特別支援学級を対象とした調査を行い、特別支援学級の担任の先生が「どのようなことを、どの程度難しいと感じているのか?」、「今後教師を目指す人が特別支援学級を担当するにあたって、どんなことを大学で学んでおいたほうがよいと考えているのか?」について分析しました。

その結果、「難しいと感じていること」としては、いろいろな実態の子どもを同時に指導することや、医療に関すること、子どもの将来の自立を見据えたキャリア教育や進路指導などについて「とても難しい」という回答が多く、これらは実際に学校で指導する上での難しさであると考えられます。「大学で学んでおいたほうがよいこと」については、いろいろな障害の定義・基本的な指導理論・特別支援教育の理念を理解することや、子どもの気持ちを受け止めるなどの教師の姿勢など、特別支援教育の基本的な事項が多く挙げられていました。また、子ども・保護者・周囲の教師とのコミュニケーション、学級経営や指導方法の考え方、障害の特性等による子どもの行動への対応、教師になる意思、子どもの将来の自立を考えることなどが重要であるという意見が寄せられていました。

西九州大学子ども学部子ども学科では、今回の研究を踏まえ、特別支援教育の基本を身につけられるカリキュラムを準備し、将来実践的な学びを続けられるように、教師になることへのモチベーションやコミュニケーション力を高める学生教育に取り組んでいきます。

## 【 研究活動の紹介 】

元特別支援学校教員である実務家教員として、大学内での活動の他、大学の外でもいろいろな活動に取り組んでいます。

### 〈佐賀心理リハビリテーション訓練会〉

毎月1回、主に佐賀県内にお住まいの障害のある方と一緒に、体の動きの改善を目的とした訓練会に参加しています。この訓練会は、西九州大学子ども学部の実習の場にもなっています。

「心理リハビリテーション」という技法を用い、訓練を受ける方とのコミュニケーションを大事にしながら、楽しく訓練に臨んでいます。



膝を伸ばして自分で立位を保持する課題

### 〈かえでの会〉

主に佐賀県の東部地区にお住まいの障害のある方やその保護者の方の会です。ゼミ活動の一環として、年に2回の交流会（余暇支援活動）を行っています。

交流会の内容は学生が考え、必要な道具は手作りしています。会のみなさんが好きなことや得意なことを生かして、一日楽しい活動ができるよう、知恵を絞って準備しています。



段ボール箱やペットボトルで作った「空気砲」で的を倒すレクリエーション

### 〈特別支援学校での授業研究会〉

佐賀県内の特別支援学校で開催される授業研究会に参加し、よりよい授業づくりのためにどのようにして子どもの目標を立てるか、子どもが主体的に活動するためにはどのような手立てが必要か、授業中の子どもの姿をどのように評価するか、といった視点に沿って、現場の先生方との実践的な研究協議に臨んでいます。

実際に授業に取り組む先生方や子どもたちの姿から、たくさんの学びを得ています。

## 【 高校生のみなさんへ メッセージ 】

いま、学校にはいろいろな支援を要する子どもたちが在籍しています。特別支援教育は、子どもの教育的ニーズを的確に把握し、一人一人に応じた適切な指導・必要な支援を行うものです。いわば一人一人に応じた「オーダーメイドの教育」なのです。

子どもたちは、自分に合った支援を受けることで、たとえゆっくりでも、できなかったことが着実にできるようになっていきます。そうした子どもたちの姿に寄り添い、しっかりと支え、子どもの成長を実感できるところが特別支援教育の魅力だと考えます。

子どものことを「困った子」ではなく「困っている子」ととらえ、その子のよさを探りながら、保護者や周囲の先生方と力を合わせて実践に取り組み、みんなで喜びを分かち合える、そんな特別支援教育を、みなさんも学んでみませんか？